

学校だより

## 東雲

(しのめ)



八戸市立東中学校

Tel 31-3170 31-3180

※ 東中学校の教育情報は、ホームページやブログでも  
公開しておりますので、是非ご覧ください。

Fax 32-1130

http://hachinohe.ed.jp/higasi\_j/

◇◇ 共育99 ◇◇

〔「共育」：皆さんと「共に育む」の意味です。〕

## 大きな成果をあげて、修学旅行無事終了！

4日間の旅行を通して、いろいろな発見がありました。すべて紹介できればいいのですが、それが無理なくらい3年生のパワーに圧倒されることが多かった旅でした。

まずは食事です。慣れないブッフェスタイルにもかかわらず、こちらの心配をよそに、食べる速さ、量ともにピカイチでした。よく食べる集団は、何かと強いと言われますが、4日間のタフさはここからきていたのかもしれませんが、あとは、バランスのとれた食事のとり方をしている点にも驚きました。今までは、揚げ物だらけ、パンだらけなどと偏った食事風景を見るのが多かったため、それが少なかったことに感動です。

続いて時間。自主見学には小さな変更や修正がつきものですが、それを見事にクリアし、最後の集合時間には全班無事にお台場にたどり着きました。小さなミスも、みんなで見事を出し合って乗り越える力も見事でした。

そして、特筆すべきは「おもいやり」です。たまたまケガで松葉杖で参加の生徒も数名いました。車椅子を借りて押し方を教わる姿や、スピードを合わせてゆっくり歩く姿…。車椅子を押している人も押されている人も、笑顔が絶えない活動に「大人だなあ」と感じました。思いやりの心が根底に流れているだけでなく、その思いやりに対して、自分がどんな態度で応えれば良いのかも分かっている大人です。修学旅行では、短期間で断片的な力しか見えてきませんでしたが、きっとこれからの活動で、もっともっと凄い力が発揮できるのではないかなと期待させる集団でした。(3学年主任 進藤直彦)

私は、実行委員として、事前の準備や修学旅行を通して学んだことがあります。

それは、「一人一人の力は本当に小さい。しかし、一人一人が最大の力を発揮した時、物事が成功する。」ということです。

何日もかけて実行委員全員が最大の力を出し、考えたテーマ。集合時間に遅れないよう、3学年全体が意識して行動した、班活動。小さなミスも、班長会議で反省し、次からはなくそうと最後まで努力した班長と、それに協力した班員。どの場面も、一人一人が修学旅行を成功させようと力を尽くしたことばかりです。その甲斐あって、修学旅行は大成功し、私たちは一回り大きくなって帰ってくることができました。

学んだことのほかに、改めて感じたこともあります。それは、「絆は無限大に強くなる」ということです。入学してからの2年間で、私たちの学年の絆は、とても強いものとなっていました。しかし、絆に限界はないのです。そのことを、今回の修学旅行で、しみじみと感じました。出発する前よりも廊下やクラスが明るくなり、先生たちの問いかけに、さわやかに素早く反応できるようになってきました。全員が修学旅行の成功のために頑張った結果が、「より強い絆」というかけがえのないものになったのだと思います。きっと、今後の行事でも、私たち3学年の絆が深まったところをお見せできると思います。楽しみにしててください。

私たちは、4日間で様々な体験をし、見聞を広め、テーマと同じくGrowing upして帰ってくることができました。それは、たくさんの方の支えがあってこそです。そのことを忘れず意識し、4日間で学んだ全てのことを、これからの学校生活で積極的に生かしていきます。そして、東中がさらに進化するよう3学年一同努めていきたいと思っております。(3学年修学旅行実行委員長 江渡明香)

